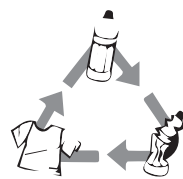


10月は「3R推進月間」および「グリーン購入キャンペーン月間」です

はじめよう！ごみを減らして無駄のない生活を



誰もが暮らしやすい環境を次の世代に残していくことは、私たちの責任であり義務です。ごみを減らし、持続発展可能な循環型社会を構築していくためのキーワードは、『3R』。Reduce（リデュース…減らす）、Reuse（リユース…再使用）、Recycle（リサイクル…再資源化）の頭文字をとった言葉で、実践にはこの順番が大切です。

普段の買い物の中にも、地球環境のことを考えて商品などを購入する「グリーン購入」など3R推進のために実践できる様々なことがあります。ごみを出してしまってから考えるのではなく、ごみを減らして無駄のない生活を心がけ、ものを大切にしましょう。

まずは Reduce（減らす）

第1のRは、リデュース、つまり資源の消費を減らすことです。レジ袋や割り箸など無意識の消費が大量のごみを発生させる大きな原因となっています。

◆ごまめに買い物袋を持ち歩きましょう

- ・マイバッグを持参して、ごみ減量のためレジ袋を断りましょう。4月からレジ袋が有料になった店舗があります。

◆包装はできるだけ少ないものを選びましょう

- ・包装の少ない商品、過剰包装を断ることでごみを減らせます。

◆商品は長く使えるものを選びましょう

- ・流行に左右されず、丈夫で長く使える商品を買うように心がけましょう。

次に Reuse（再使用）

第2のRは、リユース、つまり何回も繰り返し使うことです。

◆繰り返し使えるものを選びましょう

- ・たとえばリターナブルびん、充電式の乾電池などは環境にやさしいといえます。

◆壊れたら修理しましょう

- ・電気製品のわずかな故障や少し壊れた家具などは修理して使いましょう。

◆リメイク・リフォームしてみましょう

- ・不要な服で子ども服やカバンなどをつくるなど、物を修理したり形を変えたりしながら捨てずに使っていく暮らしをしましょう。

最後に Recycle（再資源化）

最後のRは、お馴染みのリサイクル、ごみの再資源化です。ごみを原材料として再生利用するのです。

◆ごみの分別をしっかりと守りましょう

- ・ガラスびんは溶かして新たなびんに。牛乳パックはトイレットペーパーに。PETボトルは合成繊維に再資源化できるよう、可燃ごみに混じらないようにしましょう。

◆紙類包装容器類もリサイクルに

- ・新聞紙や雑誌などの古紙、ダンボールや白色トレイなどの包装容器類も新たに再生することができます。可燃ごみと分類しましょう。



グリーン購入とは・・・

製品やサービスを購入する際に環境を考慮して、必要性をよく考え、環境に与える影響ができるだけ少ないものを、環境保全に熱心な企業から、優先して購入することです。

◆環境マークの一例

- ・次のマークの付いた商品を選ぶようにしましょう



牛乳パック再生品



家電省エネ評価マーク



省エネ基準達成製品



ペットボトル再生品



古紙を使用した製品



古紙使用100%再生品



環境に配慮した製品



滋賀県リサイクル認定品

◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当

☎0578